

資料3

中学校昼食実施方式について

【1】様々な項目における比較

実施方式名		現行方式 (家庭からの昼食) (選択式デリバリー注文弁当)	給食				
			自校調理方式 (食缶方式)	親子調理方式 (食缶方式)	センター調理方式 (食缶方式)	デリバリー方式 (食缶方式)	デリバリー方式 (弁当箱方式)
方式説明		家庭から持参の昼食（家庭弁当・市販のパン、おにぎり等）と選択式デリバリー注文弁当を各自で選択	各学校の敷地に給食室を建設し、そこで給食を調理する	既存の小学校の給食施設で、中学校の給食も調理し、配送する方式。 調理場を持つ学校が「親」、調理場を持たない学校が「子」となる。	学校外に給食調理施設を建設し、複数の学校の給食を一括調理し、各学校へ配送する方式	民間事業が持つ調理施設で給食を調理し、食缶に入れて各学校へ配送する方式	民間事業が持つ調理施設で給食を調理し、弁当箱に入れて各学校へ配送する方式
給食内容	栄養バランス	各家庭により差が生じる	栄養バランスに配慮した給食の提供が可能	栄養バランスに配慮した給食の提供が可能	栄養バランスに配慮した給食の提供が可能	栄養士が管理したメニューを提供できる事業者の確保が必要	栄養士が管理したメニューを提供できる事業者の確保が必要
	適温提供	特になし	自校調理のため、適温提供が可能	保温食缶を使用する等の対応が必要（移動距離による影響有）	保温食缶を使用する等の対応が必要（移動距離による影響有）	保温食缶を使用する等の対応が必要（移動距離による影響有）	衛生管理上、副食は一旦冷却する必要があるため、適温提供には工夫が必要
	量の調整	各家庭で調整可能	配膳時に可能	配膳時に可能	配膳時に可能	配膳時に可能	調整は難しい
	献立	子どもの希望に合わせることができる	多様な献立の提供が可能	大量調理のため、献立に制約がある場合がある	大量調理のため、献立に制約がある場合がある	大量調理のため、献立に制約がある場合がある	大量調理、又は弁当方式のため、献立に制約がある
安全性 安心制	食中毒発生リスク	家庭に限定	被害が自校に限定	被害が自校（親と子）に限定	被害が広範囲におよぶ可能性がある	被害が広範囲におよぶ可能性がある	被害が広範囲におよぶ可能性がある
	食物アレルギー対応	家庭で対応	対応（除去食）が可能	対応（除去食）が可能	多様なアレルギーに対応できない	多様なアレルギーに対応できない。また、対応可能な事業者の確保が必要	多様なアレルギーに対応できない。また、対応可能な事業者の確保が必要
	衛生管理	家庭で対応	分散管理のため、各校での衛生管理が必要	分散管理のため、各校での衛生管理が必要	施設が限定されるため、集中した衛生管理がしやすい	「学校給食衛生管理基準」を満たす事業者を確保し、衛生管理指導等を定期的に実施する必要がある	「学校給食衛生管理基準」を満たす事業者を確保し、衛生管理指導等を定期的に実施する必要がある
食育の推進	食育指導	同じ献立の昼食を喫食しないので、昼食を通じた食育はしにくい	同じ献立を喫食するので、食育指導が可能	同じ献立を喫食するので、食育指導が可能	同じ献立を喫食するので、食育指導が可能	同じ献立を喫食するので、食育指導が可能	同じ献立を喫食するので、食育指導が可能
	調理員との交流	なし	調理場が学校内にあり、身近であるため、調理員と生徒との交流が可能	調理場が学校外にあり、調理員と生徒との交流は難しいが、施設見学等による交流は可能	調理場が学校外にあり、調理員と生徒との交流は難しいが、施設見学等による交流は可能	調理場が学校外にあり、調理員と生徒との交流は難しいが、施設見学等による交流は可能	調理場が学校外にあり、調理員と生徒との交流は難しいが、施設見学等による交流は可能
学校の影響	学校敷地への影響	配膳室設置済み	給食室（学校敷地内に建築）配膳室、リフト等（校舎内に整備）の必要がある	荷受場、配膳室、リフト等（校舎内に整備）の必要がある	荷受場、配膳室、リフト等（校舎内に整備）の必要がある	荷受場、配膳室、リフト等（校舎内に整備）の必要がある	荷受場、配膳室、リフト等（校舎内に整備）の必要がある
	学校への搬入・配送	弁当を配送する車両の出入りがある	学校への食材搬入業者等の車両の出入りが多い	「親」校からの車両の出入りがある	給食を配送する車両の出入りがある	給食を配送する車両の出入りがある	給食を配送する車両の出入りがある
	校時への影響	なし	配膳、喫食、片付けの時間確保のため、校時表の見直しが必要	配膳、喫食、片付けの時間確保のため、校時表の見直しが必要	配膳、喫食、片付けの時間確保のため、校時表の見直しが必要	配膳、喫食、片付けの時間確保のため、校時表の見直しが必要	食缶方式より影響は少ないが、校時表の見直しが必要
	給食室及び配膳室の管理・運営	配膳室の管理、運営が必要だが、給食実施の場合より負担は少ない	給食室及び配膳室の管理、運営が必要	配膳室の管理、運営が必要	配膳室の管理、運営が必要	配膳室の管理、運営が必要	配膳室の管理、運営が必要
	生徒への給食指導	なし	準備から片付けまでの一連の指導、異物混入の防止への配慮などの指導が必要	準備から片付けまでの一連の指導、異物混入の防止への配慮などの指導が必要	準備から片付けまでの一連の指導、異物混入の防止への配慮などの指導が必要	準備から片付けまでの一連の指導、異物混入の防止への配慮などの指導が必要	食缶方式より少ないが、準備から片付けまでの一連の指導が必要
	教職員の負担	なし	①給食指導 ②アレルギー対応	①給食指導 ②アレルギー対応	①給食指導 ②アレルギー対応	①給食指導 ②アレルギー対応	①給食指導 ②アレルギー対応
	給食費の徴収	なし	あり	あり	あり	あり	あり
家庭と子ども	コミュニケーション	ある	家庭弁当ほどない	家庭弁当ほどない	家庭弁当ほどない	家庭弁当ほどない	家庭弁当ほどない
	家庭による健康管理	朝・昼・夕食で対応	朝・夕食で対応	朝・夕食で対応	朝・夕食で対応	朝・夕食で対応	朝・夕食で対応
その他	調理作業	家庭で対応	給食室に調理員が必要	給食室に調理員が必要	大量調理のため、業務の効率化が図りやすく、調理員が少なくて済む。調理員の欠員に対応しやすい。	大量調理のため、業務の効率化が図りやすく、調理員が少なくて済む。調理員の欠員に対応しやすい。	大量調理のため、業務の効率化が図りやすく、調理員が少なくて済む。調理員の欠員に対応しやすい。
	給食時間	給食実施の場合より、ゆとりがある	喫食時間は、学校のカリキュラムとの関係上、十分な時間確保の調整が必要	喫食時間は、学校のカリキュラムとの関係上、十分な時間確保の調整が必要	喫食時間は、学校のカリキュラムとの関係上、十分な時間確保の調整が必要	喫食時間は、学校のカリキュラムとの関係上、十分な時間確保の調整が必要	喫食時間は、学校のカリキュラムとの関係上、十分な時間確保の調整が必要
	保護世帯対応	不可	可能	可能	可能	可能	可能
	地産地消	家庭で対応	配送先が分散されるため、手間がかかる	配送先が分散されるため、手間がかかる	配送先が1箇所と集中するため、配送がしやすい	配送先が1箇所と集中するため、配送がしやすい	配送先が1箇所と集中するため、配送がしやすい
		家庭で対応	調達量が少ないので、各校对応幅が大きい。	調達量が少ないので、各校对応幅が大きい。	調達量が多いので、対応幅が狭い	調達量が多いので、対応幅が狭い	調達量が多いので、対応幅が狭い
	防災拠点	特になし	震災等の災害時に施設を活用可能	震災等の災害時に施設を活用可能	震災等の災害時に施設を活用可能	震災等の災害時に施設を活用可能（※業者との契約内容による）	震災等の災害時に施設を活用可能（※業者との契約内容による）
	施設管理	家庭で対応	各校分散管理となり、効率性に劣る	各校分散管理となり、効率性に劣る	集中管理が可能となり、効率的である	事業者の管理	事業者の管理

【2】経費における比較 ※次回検討内容

区 分		比 較 項 目					
①	初期投資費	用地取得費	建築費（給食室・配膳室）	設計費（給食室・配膳室）	備品（給食室・配膳室）	消耗品費（給食室・配膳室）	リフト・エレベーター設置
②	運営管理費	人件費（栄養教諭）	人件費（調理員）	調理委託業務料	備品・消耗品費	配送業務委託料	配膳委託料
		予約システム保守管理費	調理委託業務料	備品・消耗品費	配送費		
③	その他	教育扶助及び就学援助	修繕費	備品更新費	大規模修繕費		